



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 情報宣伝部  
2024年10月29日 No.804

## 人件費は減少！仕事は増加！

2024年末手当 Part③

## 経営側は社員の努力に応えるべきだ！



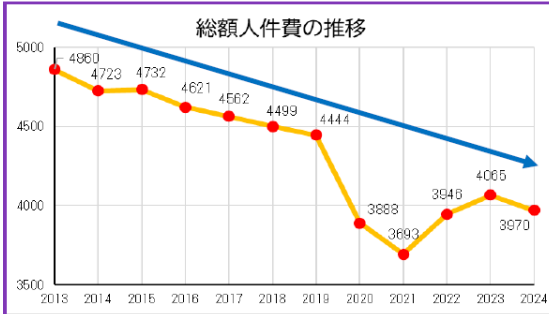
東日本ユニオン  
NEWS

JR東日本労働組合  
発責 情報宣伝部  
2024年10月26日 No.801

### 総額人件費の推移

「総額人件費」とは

従業員に支給する給与や福利厚生費など、人にかかわるコストをすべて合計した費用のことで、従業員に支払う給与以外に、賞与・残業手当・退職金などが該当し、様々な費用が含まれた人件費のことを指します。



グラフ：縦軸【億円】 横軸【年度】 ※2024年については2025年3月期の計画値

社員の奮闘で生み出した「利益」は

「社員の成長」「社員の働きがい」に「活用」されていますか？

**人件費は「減少」 仕事量は「増加」**

**職場から声をあげて年末手当を勝ち取ろう！**

- ・子育て世代が職場に多く在籍しているが、要員不足で人が足りておらず、育児・介護勤務者も全員泊り勤務や拘束時間の長い日勤を行うなど、社員にとってツライ状況になっている。社員の苦勞に見合う年末手当の支給を求めたい。（関東）
- ・イベントの準備が忙しい。とてもじゃないが行路内の「その他時間」では終わらない。乗務中は「頭を切り換えて乗務しないといけない」と分かっているのだが、イベント準備のことを考えてしまう。こんなに苦勞をしているのだから、それに見合うボーナスであるべきだ！（上信越）
- ・乗務以外にも色々な業務をやるようになり、働きがいも感じられるが、やっぱりお金が欲しい！一番はお金をたくさん貰えることであり、だからこそ社員は「頑張った良かった」と感じられるのだ！（関東）
- ・インバウンドも増えて駅や列車は混雑しており、業績も黒字になっている。社員にそろそろ還元するべきだ！もう我慢の限界だ！（関東）

- ・社員が退職したあとの要員補充がない。業務量は増え毎日帰るのも遅くなる。社員1人で何役もこなしているのだからボーナスが増えるのは当然なのに、夏季手当の支給額にはガッカリした。年末手当も低額だったら許しません！（上信越）
- ・コロナ禍は期末手当と定期昇給が低額に抑えられた。「スピード感を持った変革」という名のもと統括センター化が進められ、支社業務が現場にシフトされるなど、現場社員は管理者の業務までやらなければならない。このような状況でも業務に対する意欲を継続し頑張っている。業績と頑張りに見合った年末手当の支給が必要だ！（関東）
- ・仕事が増えているのに賃金や手当が上がらないのはおかしい。相互運用は社員一律に教育して全員でやるならば仕方がないと思えるが「できる人だけ」「苦勞した人」だけが損する現状に納得がいかない！（上信越）
- ・休日出勤で不健康な勤務になっている。業績も好調なので年末手当はしっかり出すべきだ。「社員の成長」などではなく、目に見える形で還元してもらいたい！（上信越）